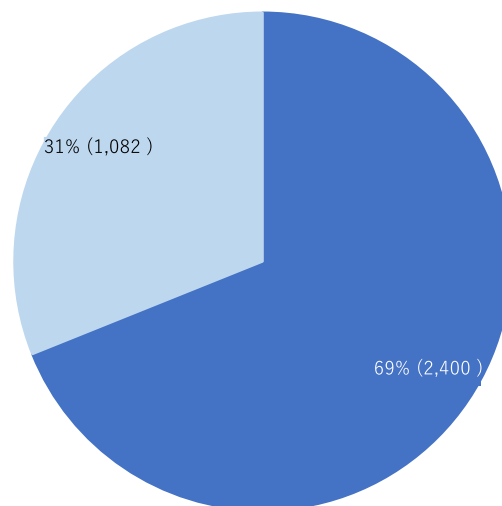


サウジアラビアにおける子供用品市場の概要

1) サウジアラビアにおける子供用品市場の市場規模、推移、予測

サウジアラビアにおける人口は2021年時点で、約3,480万人であった。そのうち、0歳～19歳が約1,082万人（全体の31.6%）、20歳以上が約2,400万人（全体の69%）を占める。以下にサウジアラビアにおける年齢別の人口を記載する。

図1：サウジアラビアにおける年齢別の人口規模（万人）と比率



出所：PopulationPyramid.com

また、世界銀行によると、サウジアラビアにおける2019年の出生率は2.28となっており、世界平均である2.40とほぼ同等である。こうした環境下にあることから、サウジアラビアにおける若年層の人口は今後も安定的に拡大していくものと考えられる。

2) サウジアラビアにおける子供用品市場の主要輸入品目、輸入国

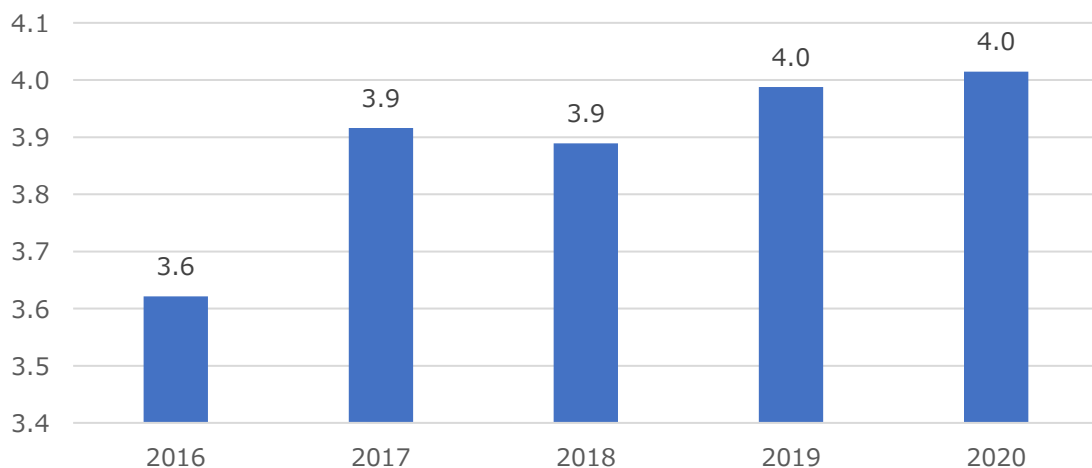
本パートにおける食器・調理機器には以下のHSコード分類番号に分類される商品が含まれる。

HSコード	分類名（英語）	分類名（日本語）
9503	Tricycles, scooters, pedal cars and similar wheeled toys; dolls' carriages; dolls; other toys;	三輪車、スクーター、足踏み式自動車その他これらに類する車輪付き玩具、人形用乳母車、人形、その他の玩具、縮尺

	reduced-size "scale" recreational models, working or not; puzzles of all kinds.	模型その他これに類する娯楽用模型（作動するかしないかを問わない。）及びパズル
9504	Video game consoles and machines, articles for funfair, table or parlour games, incl. pintables, billiards, special tables for casino games and automatic bowling alley equipment	ビデオゲーム用のコンソール及び機器、遊戯場用、テーブルゲーム用又は室内遊戯用の物品（ピンテーブル、ビリヤード台、カジノ用に特に製造したテーブル及びボーリングアレー用自動装置を含む。）
9619.00	Sanitary Napkins and Tampons, Diapers And Diaper Liners And Similar Sanitary Articles Of Paper Pulp	生理用のナプキン（パッド）及びタンポン、乳児用のおむつ及びおむつ中敷きその他これらに類する物品（材料を問わない。）

サウジアラビアにおける子供用品（子供向けの玩具等）の輸入金額は、2016年時点で約3.6億米ドル（約418億円）であったが、以降、年平均で約2.6%の成長を記録しており、2020年には約4.0億米ドル（約464億円）に達している。特に、2016年から2017年にかけて輸入金額が約8%拡大しており、以降も安定的に輸入金額については拡大している傾向が継続している。

図2：サウジアラビアにおける子供用品（子供向けの玩具等）の輸入市場規模の推移（億USD）



出所：International Trade Statistics

それぞれの商品群の2020年の輸入額は、9503「三輪車、スクーター・・・」が、約2.3億ドル（約265億円）、9504「ビデオゲーム用のコンソール及び機器・・・」が、約1.7億ドル（約199億円）、

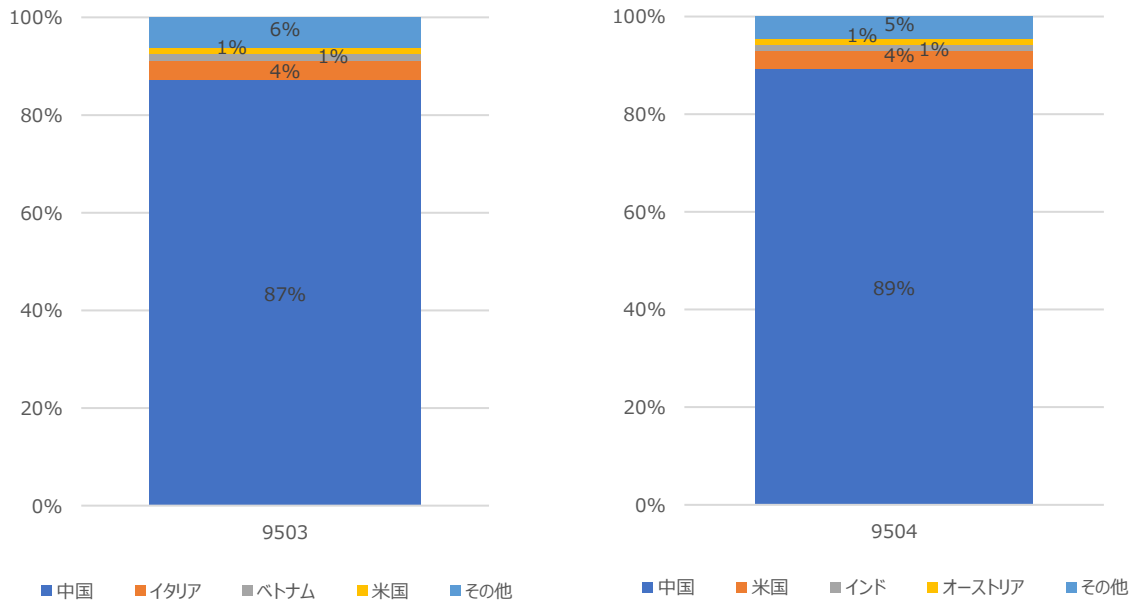
であった。

9503「三輪車、スクーター・・・」については、輸入が最も多かった国は中国で約 2 億ドル（約 231 億円）と全体の約 87%を占めており、以下、イタリアの約 930 万ドル（約 10.8 億円）、ベトナムの約 285 万ドル（約 3.3 億円）、米国の約 272 万ドル（約 3.1 億円）と続く。

9504「ビデオゲーム用のコンソール及び機器・・・」については、輸入が最も多かった国は中国で約 1.5 億ドル（約 177 億円）と全体の約 89%を占めており、以下、米国の約 640 万ドル（約 7.4 億円）、インドの約 213 万ドル（約 2.5 億円）、オーストリアの約 175 万ドル（約 2.0 億円）と続く。

これらの結果を以下のグラフに示す。

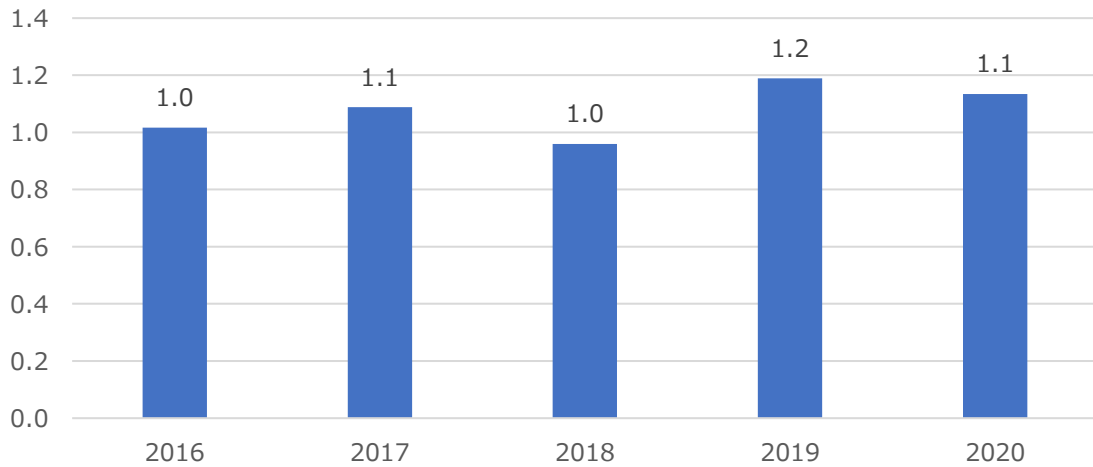
図 3 : サウジアラビアにおける輸入規模が大きい子供用品分類の輸入元シェア (%)



出所 : International Trade Statistics

サウジアラビアにおける乳児用の衣類、乳幼児用の衣類附属品の輸入金額は 2016 年時点で約 1.0 億米ドル（約 116 億円）であったが、以降、年平均で約 2.8%の成長を記録しており、2020 年には約 1.1 億米ドル（約 131 億円）に達している。

図 4 : サウジアラビアにおけるおむつ等を含む衛生商品の輸入市場規模の推移 (億 USD)

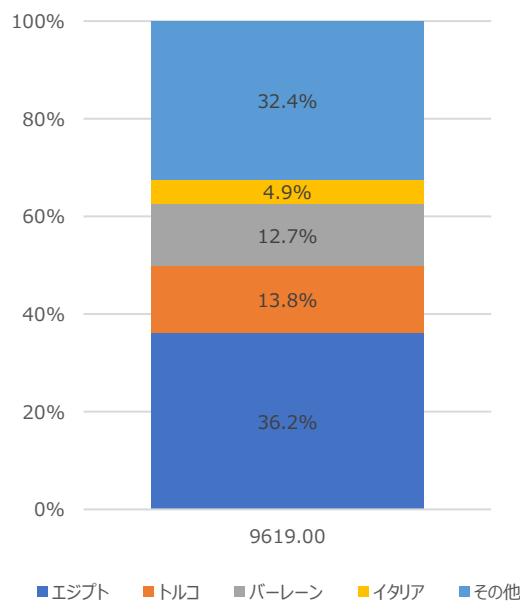


出所 : International Trade Statistics

おむつ等を含む衛生商品について、輸入が最も多かった国はエジプトで約 4,100 万ドル（約 47.4 億円）と全体の約 36%を占めており、以下、トルコの約 1,600 万ドル（約 18.1 億円）、バーレーンの約 1,400 万ドル（約 16.7 億円）、イタリアの約 560 万ドル（約 6.5 億円）と続く。

これらの結果を以下のグラフに示す。

図 5 : サウジアラビアにおけるおむつ等を含む衛生商品分類の輸入元シェア (%)



出所 : International Trade Statistics

3) サウジアラビアにおける子供用品の規制、認証制度

サウジアラビアを含む GCC 諸国においては、The Gulf Cooperation Council Standardization Organization (GSO)が発行する、“GCC Technical Regulation on Children Toys”（子供用おもちゃに関する GCC 技術規則）の規制対象となる。同技術規則は GSO のウェブサイト¹上に公開されており、商品を製造するにあたって満たさなければいけない基準や、仕様してはいけない原材料の定義、製造者、輸入者、販売者それぞれに対して求められる書類等の準備内容等が細かく規定されている。また、サウジアラビア標準化公団（Saudi Standards, Metrology and Quality Organization: SASO）は、GSO の発行する技術規則を満たし、サウジアラビア国内に輸入可能となる子供用おもちゃに関してガイダンス資料を提供している²。このガイダンス資料においては、サウジアラビア向けに子供用おもちゃを輸出する際に実施すべき事項が記載されている。実際にサウジアラビア向けに輸出を行う際には、現地バイヤーと密に連携した上で、GSO 及び SASO が定める技術基準や製品規格を確認した上で、輸出手続きを進行させることを推奨する。

4) サウジアラビアにおける子供用品の主要小売店

サウジアラビアにおいて子供用品を販売している小売店のうち、多店舗展開をしているのは Jarir Bookstore 社（<https://www.jarir.com/>）で、59 店舗を国内に展開している。同社は子供用品専門店ではなく、書籍や電気製品等を幅広く販売している総合店舗で、EC サイトも運営している。日本の家電量販店のように幅広い商品を販売しており、現地において名が知られている小売店である。その他、サウジアラビア国内において 7 店舗を展開しており、GCC 各国において店舗展開を行っている Mamas & Papas 社（<https://en.mamasandpapas.com.sa/>）も存在している。同社も EC サイトを運営している。商品としては、幼児～園児向けの商品が多数ラインアップされており、ベビー服やその他ベビー用品等も販売されている。子供用品についても、室内用のジャングルジム等、やや年齢層が低い子供向けの商品が中心となっている。また、外資系の店舗ブランドでは、トイザらス（<https://www.toysrus.com.sa/>）がサウジアラビア国内に 18 店舗を展開しており、幅広い年齢にあった子供用品を販売している。また、同社についても EC サイトを運営している。

このほか、英国発のベビー & キッズ専門店である Mothercare（<https://www.mothercare.com.sa/en/>）についても、サウジアラビア国内に 54 店舗を展開する大手小売店であり、幼児～園児向けの商品が多数ラインアップされている。このほか、中東地域ナンバーワンのベビー用品の EC サイトである Mumzworld（<https://www.mumzworld.com/>）についても、サウジアラビアと UAE において事業展開を行っており、現地の母親に人気が高い EC サイトである。

5) サウジアラビアにおける子供用品の主要見本市

¹ <https://www.gso.org.sa/wp-content/uploads/2017/11/GSO-Technical-Regulation-On-Toys.pdf>

² https://www.saso.gov.sa/ar/Laws-And-Regulations/Technical_regulations/Documents/TOYS%20Guide_EN_20160313_%D9%86%D8%B4%D8%B1.pdf

サウジアラビアにおいては、子供用品を主軸に添えた見本市は開催されていない。しかし、2021年11月12日から21日の10日間にかけて、Riyadh Toy Festivalが開催された。このRiyadh Toy Festivalはサウジアラビア最大のエンターテインメントイベントであるリヤド・シーズン（Riyadh Season）中に開催され、家族向けのエキサイティングなエンターテインメント体験する機会を提供すると共に、国際的な参加者とのインタラクティブな活動の中で、全年齢向けの国際的なゲームの発売など、さまざまなサブライズを提示している。また、サウジアラビアで初めて公開されるおもちゃが500以上準備されていたということで、世界中から玩具会社が参加していた。具体的には、Disney、Mattel Games、Hasbro、Toy Pro、Moonbug Entertainment、MGA Games、Pocket.watch等の企業が当該イベントに参加しており、新商品等の販売を行った。リヤド・シーズンは2019年から開催されているイベントであるため、今後も継続的にRiyadh Toy Festivalが開催される可能性があると考えられる。こうした世間が注目しているイベントにおいて自社商品を発表／展示することは日本企業にとってもサウジアラビア市場に対して子供用品をアピールする良い機会になると考えられる。

6) サウジアラビアにおける子供用品のトレンド

サウジアラビアは厳格なイスラム教徒の国であるため、これまで、映画やコンサートといった娯楽を国内において楽しむことが難しかった背景がある。また、ゲームやアニメ等の子供向けのコンテンツについても、提供されるものは限定的であり、国全体としてエンターテインメントが発展していなかった。しかし、近年、徐々にエンターテインメントに関する規制が緩和される傾向にあり、それに併せて、ゲームやその他エンターテインメント関連の商材がサウジアラビアにおいて受け入れられやすい素地が整ってきていると言える。サウジアラビアでは現在、3大ギガ・プロジェクトが走っており、そのうちの1つである総合エンターテインメント地区Qiddiyaの開発もビジョン2030に併せて開発されており、そうした状況に後押しされる形で、様々な種類の子供用おもちゃやビデオゲーム等が市場に参入する機会があると考えられる。

以上

● 市場概況レポート「サウジアラビアにおける子供用品市場の概要」（2022年3月）

○ 作成：ジェトロ・ドバイ事務所、中小企業現地展開支援UAEプラットフォーム

35th Floor, #3503 - #3506, The One Tower, Barsha Heights, TECOM, Dubai, U.A.E.

○ 調査：プラットフォーム・コーディネーター（ksn Research & Consulting）

【おことわり】本資料は「UAE 中小企業海外展開現地支援プラットフォーム事業」の一環として作成したものです。提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご利用下さい。JETROではできるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して不利益等を被るような事態が生じたとしても、一切の責任を負いかねますので、予めご了承下さい。